
envy delusion girl

吹上 香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

envy delusion girl

【Nコード】

N7167L

【作者名】

吹上 香

【あらすじ】

今回はヤンデレですよ。

グロテスクに仕上げました。

(前書き)

ヤンデレの嫉妬の様です。

妄想で自分に思い人が彼氏だと信じきってます。

尋常じゃないグロさです。

軽い見ると吐き気を催します。

どうして…？

私がかしたのかな…？

なんで、私以外の女の話しているのかな？

なんで、私以外の女に触れているのかな？

どうして、ねえ、どうして！？

そうか、あの女に脅されたんだね！

じゃあ、その女を

「殺さなきゃ…！」

そう思った、私は家の愛用の包丁を持って愛しい人の家に向かった…

家のチャイムを鳴らし、人が出るまで待つそして…

「はい、どちらさっ」

シュッ

首に包丁を走らせた…

「え…？」

ブツシャツ

あたり一面に血液がとびつ散った…

「せつかく、おしゃれしたのになあ…

血塗れになっちゃった…」

幸いまだ生きていて、思いながらこの女にどんな復讐を与え様か考えていた…

「どんな、死に方が良いかなあ？」

ヒューヒューと耳障りな音をしながら女は虚ろな瞳に涙を浮かべながら、倒れこんでいた…

「良いこと思いましたっ…！」

私はそういって、女の腹の辺りを思いつきり切り開き、切口に手を

突っ込んで、辺りを探してみた…
その間まだ痛覚が残っていたらしく、女が痛みを悶えていい気味…

女の腹の中はヌメヌメしていて、決してさわり心地が良い感触ではなかったが愛しい人のために探り続けてみた…

「あ！、あつた！」

「ジユル、ブツチャ、ズル…」

探し物を引きずり出しながら、包丁で丁度良い場所切り落とした

「ッ！！」

「痛みに反応して、動き出したがそのまま動かなくなってしまった…」

「つままないなあ、死んじゃった？」

「足で突いても動かないモノになってしまつて復讐する意味がなくなつてしまった」

「まあ、いいかなあ？」

「あの人にも早く会いたいし…」

靴のまま、彼の部屋に向い、ノックした…

「入っていいよ」

「素っ気無いけど、久しぶりに聞いた声…」

「ガチャツ…」

「会いたかつた…！！」

「彼に抱きつき」

「感嘆の表情を見せた彼に、一言…」

「愛してる!!!」

私はその時聞きたくない言葉が返ってきた

「君は誰…?」

目の前が真っ暗になった…

f i n .

(後書き)

ごめんなさい
調子乗りすぎました。

閲覧ありがとうございます…

明日、学校なのにどうしてこう、グロテスクな小説を書いているのか疑問です。

これ、18禁表示にしろっていわれそう…

そもそも、消されそう…

消されたらデータってHPにのせます…

小説の最後ポ〇モ〇かよw

では、ここまで読んでくださってありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7167/>

envy delusion girl

2010年10月13日13時54分発行